

業務連絡

2020年 8月24日
J R 東海 労新幹線関西地本
編集 業務部 No. 3

2020年8月19日、新大阪日之出会議室において「申」第4号について、会社は団体交渉の開催を拒否し、会社側幹事から口頭による回答がありました。

以下、組合の申し入れと会社回答。

J R 東海 労幹 関西地 「申」 第 4 号
2 0 2 0 年 7 月 3 1 日

名古屋運輸所の運転士の新型コロナウイルス感染に関する申し入れ

7月29日、名古屋運輸所の運転士が新型コロナウイルスに感染していることが分かったと会社掲示が出されている。掲示には、「当該社員は、業務中は常時マスクを着用しており、必要な箇所の消毒も完了していますので、皆さんは過度に心配することなく、引き続き感染防止に留意しつつ通常通り業務を行ってください。」とある。そして、当該運転士が直近に乗務した列車を明らかにしているが、当該運転士が感染確認された日時、乗務以外の拘束時間内の行動等が不明である。J R 東海社員の駅係員、乗務員や車両所関係社員等に会社として積極的に情報を共有し、関係する全ての施設の消毒や、PCR検査等について関係保健所等に対して要請を行うべきである。

よって下記のとおり申し入れるので、早急に団体交渉を開催し、社員の健康管理及び労働環境の整備に努めること。

記

1. 新型コロナウイルスに感染した名古屋運輸所の運転士の発症2週間（最大潜伏期間）前からの拘束時間内の行動について明確にすること。

【会社回答】

プレス発表している通り、20代の男性社員と聞いている。当該社員の発症2週間前からの拘束時間内の行動については、個人情報も含まれること等から、明らかにするつもりはない。

2. 当該運転士の行動に基づき、接触した関係社員のPCR検査を実施すること。

【会社回答】

当社の社員に関しては、手洗い等による感染予防や検温等の健康管理を徹底しており、現時点でPCR検査を実施する予定はない。なお、個別の事象に対するPCR検査の受検要否については、保健所の指示があればそれに従う。関係会社社員に関しては、当社の判断でPCR検査を実施することが出来ないため、回答する立場にない。

3. 当該運転士が乗務した列車及び使用した施設等の消毒等は、いつ、誰が、どのように行ったのか明らかにすること。

【会社回答】

お客様が触れる、車内の手すり・肘掛けや、車内の乗務員室などは、定期的な清掃で消毒を行っている。また当該社員が使用した事務室・寝室等についてもすでに消毒を実施している。

4. 当該運転士が使用した施設等に入入りする全ての社員及び関連会社等に、今事象について明らかにし、体調不良等異常を感じた場合は、ただちに医療機関を受診するよう体制を整えること。

【会社回答】

関係箇所においてはすでに掲示等で周知をしており、必要な範囲で体調把握を行っている。体調が悪い場合は速やかに申告するよう社員に周知している。なお、関係する関連会社への情報提供しており、必要な範囲で体調把握をしていると聞いている。

5. 社員が新型コロナウイルスに感染した場合は障害休暇扱いとすること。

【会社回答】

勤務や賃金の取扱いについては、保健所の指示、医療機関等の検査結果等を踏まえて管理者が指示する。

6. 新型コロナウイルス感染症から職場復帰する社員に対しては感染前と同じ適正な環境の整備に努めること。

【会社回答】

保健所等の指示に基づき、会社として適切に対応していく。

感染者が判明したら集団感染にならないように感染を断ち切るためPCR検査を！

組合：感染が拡大する中、集団感染を防止するためにPCR検査を行うべきである。

会社：医学的見地から専門家、保健所の指示に従って判断していく。

組合：ソフトバンクなどは、グループ会社社員も含めて6万人の抗体検査を行い、それで陽性の社員にPCR検査を行っている。いろんな企業が積極的に検査を行っている。当社も集団感染予防のためにも検査を行うべきである。

会社：会社の見解は回答通り。当社の社員には、感染予防や健康管理を徹底しており、現時点ではPCR検査を実施する予定はない。

J R 東海会社は、社員が安心して働ける労働環境、お客様に安心して鉄道をご利用して頂けるように、積極的に集団感染予防に努めるべきである。

以上